

## 令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充    マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号

局・課名： 環境局・環境業務課

事業名	ごみ収集	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
			5,240,772	5,253,042	5,403,435	
<b>事業概要</b>  <b>【目的】</b> 市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的としている。また、市内から発生する廃棄物の内、資源物の再利用を促進するため、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に則り、分別収集を行い、減量化・資源化も進め、循環型社会の形成を促し、一般廃棄物の安定かつ適正な処理体制を構築する。  <b>【内容】</b> 市民が衛生的で快適な生活を保てるよう、生活ごみは週2回、粗大ごみは申し込みの都度収集しており、再生利用が可能な資源については、プラスチック製容器包装は週1回、缶・びん及びペットボトルはそれぞれ月2回、小型金属は月1回、美原区のみ古紙類月1回の収集を行っている。また、地域の美化環境を保つため、不法投棄物の収集や死犬猫の収集を行うほか、市内事業者から排出される、事業系一般廃棄物についても収集を行っている。  <b>【今年度要求のポイント】</b> 本年度も引き続き一般廃棄物を効率的かつ安定的・衛生的に行える収集運搬体制を確立していく。また、今後実施予定である高齢者等を対象としたごみ出し支援事業について、課題等を解決するために他市事例の視察等を行い、事業化に向けた検討を行う。 犬・猫等のペットが亡くなった際の焼却について、動物専用炉での処理を希望する市民は、動物専用炉で焼却できるように官民で連携した取り組みを推進する。	<b>債務負担行為</b> 期間 R ~ R	要求額(千円)				
	<b>主な要求内容</b>		(単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	一般廃棄物(ごみ・資源)収集運搬業務等	5,169,242	5,336,224	生活ごみ・資源ごみ・継続・臨時ごみ収集等		
	粗大ごみ電話受付等業務	83,800	60,456	電話等による粗大ごみの受付		
	高齢者ごみ出し支援検討		166	視察旅費		
	動物死体処理事業		6,589	委託料		
	合計	5,253,042	5,403,435			
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>						
<b>【経過(～元年度)】</b> 平成21年10月1日より収集体制を4品目3分別から7品目6分別に拡大。スマートフォンを活用したごみ出しアプリの導入により、若年層を中心に幅広く市民に情報発信できる広報媒体の運用を開始している。		<b>【2年度】</b> 一般廃棄物の収集業務を安定的・衛生的に行えるように、業者指導並びに市民啓発を行う。また、粗大ごみ受付業務の安定的な運用を行っていく。		<b>【今後予定(3年度～)】</b> 一般廃棄物の収集業務をより効率的かつ安定的・衛生的に行えるように、市民と協力して、更なるごみの減量化・資源化に取り組める体制を強化していく。		
<b>その他 特記事項</b>						
関連事業：						